

交通死亡事故ゼロ1年間達成



町長室で行われた授与式の様子

本町に賞賛状が贈られる

十月二十四日で交通死亡事故ゼロ一年間を達成した本町に、県警察本部（山内正和本部長）から賞賛状が贈られました。

同日役場で行われた授与式には、沼崎喜一町長、川村永爾助役と宮古警察署の田島直樹交通課長、同署山田交番の鬼同健所長、交通安全協会山田支会の川村敬

一支会長、交通指導隊の野崎文子隊長、交通安全母の会の昆野昭子会長ら十一人が出席。藤原明同署副署長から「町民一体となった交通事故防止活動に対し敬意を表します。この記録をさらに伸ばしていただく」と賞賛状が手渡されました。これに対し沼崎町長が「今回賞賛状をいただいたことを機に、これまでの最長記録である千二百四十四日を更新できるように、町一丸となって努力したい」と決意を新たにしています。

合気会山田道場創立30周年記念  
19日に演武大会を開催

山田道場創立30周年記念演武大会が開かれます。入場は無料です。

▷日時 11月19日(土) 午前10時半～  
▷場所 町立武徳殿  
▷内容 県内道場招待演武、山田道場演武、師範演武  
▷問い合わせ 財団法人合気会県支部山田道場事務局(山屋光典☎82-2256)へ。

イラスト



波や火事が多かったため、十二支のうち四つが残ったものではないかといわれていました。

その後、昭和三十一年に川向青年会（現在の十二支会）によって十二支が作られました。その際に四神様のうち青龍が十二支の辰（龍）、白虎が寅（虎）になり、残った朱雀と玄武が十二支に加わって十四体になりました。なお、朱雀は鳳凰とも呼ばれる鳥で、十二支の酉（鶏）ではないそうです。

今朝のお茶茶柱立って縁起良く  
佐藤菊菊（荒川・77歳）  
コスモスの花に見とれし  
ジヨギングの友と語りし  
若き日の頃  
松崎静雄（船越・？歳）  
年ごとに減りゆく  
我が歯に老い感じ  
入れ歯はずして磨く愛しさ  
菊地孝進（船越・83歳）  
幸せをかみしめ孫の洗いのもの  
福土順子（八幡町・67歳）  
あばら家の窓より入りし  
月明かり眠られもせず  
起きいでて雑草庭にうづくまる  
毎夜きこえし虫たちの大合唱の  
音もなくしずまり返る夜半の月

その時、かすかに虫の声が聞こえたような気がして、「虫さんありがとう。来年また会えたら聞かせてね」と別れました。

甲斐谷セチ（八幡町・90歳）  
収穫終えて新米神佛に  
ささげて感謝の言葉  
豊間根マツ（石峠・？歳）  
いろんなひとがいるんだね  
相手は気にしてただけ  
自分は気にしてなかったり  
自分は気にしているけれど  
相手は気にしてなかったり  
自分では  
とっても気にしていること  
周りは全然みてなかったり  
君が今すぐ落ち込んでるコト  
本当はそんなに  
気にするコトじゃないのかもね  
風の踊り子（長崎・21歳）

みんなのスペース



かつやま あいちゃん  
(豊間根保育園・6歳)

わたしのゆめ

大きくなったら漫画家になって、読んだ人がうれしく楽しくなるような漫画も描きたいな。

古里への便り⑦



ふる里山田同郷の会副会長  
神奈川県藤沢市  
久保寺カヨさん(73歳)  
〔八幡町出身〕

菊薫るさわやかな季節になりました。古里山田の皆さまには元気で過ごしのことと存じます。ふる里山田同郷の会も温かい皆さまのご支援、ご協力をいただき創立二十周年を盛大に行うことができました。当日は関谷の山田大神楽、郷土土産の即売会など、会場全体が懐かしい山田の情景に包まれ、楽しい

ひと時を過ごすことができました。厚くお礼を申し上げます。古里山田には数々の誇れることがあると思います。青松白砂の大島（オランダ島）、紺碧の海、おいしい海産物、思いやりのある人情味豊かな人々、そして八幡宮、大杉神社のお祭り…。

わたしは山田のお祭りが大好きです。さらびやかで勇壮なお神輿様、力強い太鼓、郷愁を誘う笛の音、意気投合した舞の力強さ、しなやかさ。町内総出の結束のよさ、お祭り広場での熱

のこもった競演、先人たちから受け継いだ郷土芸能を情熱的に舞う姿…。日本中に胸を張って誇れる素晴らしいお祭りだと思えます。また、この意義あるお祭りを安全に進めるため、関係者の方たちの日夜並々ならぬご努力があったことでしょうか。

恒例の盛大な行事、お祭りを機に山田町がもっと多くの観光客でにぎわうことを願うと共に、豊かな自然を活かしつつ、産業の振興にさらに結び付くものは何かということ、山田の人たちとふる里会の人たち、共に考えていくことが大事ではないかと思えます。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

活気あるお祭り素晴らしい

わたしは山田に住んで三年になりますが、秋になるといつも感じるがあります。それは、山田の皆さまは本当にお祭りが好きなんだなということ。お祭りの間、町中がエネルギーで、とてもにぎやか。そして素晴らしいと思うのが、虎舞や神楽などの郷土芸能を若い人や子供たちが憧れを持って見て

十二支の謎教えてください

お祭りで十二支を見て、不思議に思うことがあります。ほくは子年生まれなのでネズミを探したら、ネズミの前に鳥とカメみたいな動物があり、数えたら全部で十四体あります。ネズミの前の動物は何ですか。また、

【回答・木下一郎さん（川向十二支会）】  
質問の鳥は朱雀、カメは玄武という神様です。わたしが調べたところ、十二支は今から約六十年前、川向町の奥喜左衛門さんが四方の守護神（東の青龍、西の白虎、南の朱雀、北の玄武）を寄贈したのが始まりで、十二支ではなく四神様だったそうです。それがいつから十二支と呼ばれるようになったのか理由は分かりませんが、昔は町内で津